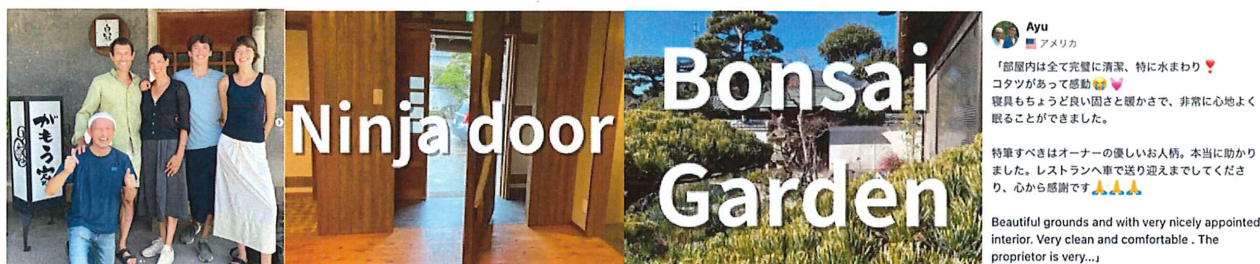


「宿泊」と「アクティビティー」をセットに、平日宿泊者の囲い込みを狙う インバウンド誘客型「がもう家プラン」

満足度が高い「おもてなし」で、新規・リピート客の獲得を目指す

明治時代に建てられた醤油蔵をリノベーションし、令和5年度香川県空き家再生コンテストにて最優秀賞を受賞した、古民家宿「がもう家」(香川県坂出市)は、インバウンドの誘客による取り組みが成功し、特に平日の宿泊者数が増加している。地方の宿泊で課題である「平日の宿泊稼働率の改善」を目指すため、「宿泊」と「アクティビティー」をセットにしたプラン提供を始めた。オーナー自ら、宿泊者からニーズを聞き、四国八十八か所の白峰寺やがもううどんに同行、歴史・文化施設を案内、翻訳アプリで英語対応をするなど、インバウンド客から「がもう家のおもてなし」が評価を得ている。宿泊者に英語でレビューをお願いし、インスタグラムで宿泊者との記念写真を発信し、新規・リピーターの宿泊者の増加を目指す。なお、売上アップに向けたトータルプロデュースはサカビズが行っている。



宿泊者との記念写真

英語のキャッチフレーズでインバウンド客に向けて施設紹介

満足度が高いレビュー

■「がもう家」がインバウンド客をターゲットにした背景

観光庁は、2030年にインバウンド客が3,000万人と目標を見据えて、取り組んでいる。また、2023年のインバウンド客は、2,500万人を超えており、今後も増加を見込めると踏んだ。香川県においては、観光庁「宿泊旅行統計調査」では、「香川県の外国人延べ宿泊者数の推移」で、2012年に4万人だったのが、2013年以降、急速に増加し、2018年には13倍以上の55万人に達した。瀬戸内海の島々を舞台とする現代アート芸術祭「瀬戸内国際芸術祭」の開催年は、インバウンドの誘客に大きく貢献していることがわかった。2025年は瀬戸内国際芸術祭に加えて大阪・関西万博があり、香川県内にも多くのインバウンド客が来日することが予想されるため、がもう家においても、インバウンド客をターゲットにすることで、宿泊者数の増加を目指すことになった。また、観光庁「訪日外国人消費動向調査」よりわかることは、近年、コト消費に該当する「娯楽サービス費」の支出割合が高まっていることもあり、「宿泊」と「アクティビティー」をPRすることで、売上アップを目指せると考えた。

■「がもう家」が具体的に取り組んだこと

がもう家に全宿泊予約者の申込経路をヒヤリングしたところ、楽天50%、がもう家HP40%、Booking.com10%、という割合がわかった。「楽天」と「がもう家HP」より日本人が、「Booking.com」より欧米人が宿泊予約する。インバウンド誘客の今後の伸びしろを考えて、Booking.comでの集客強化に乗り出した。インバウンド客が予約する際、英語で情報を取得するため、英語での発信はサカビズがサポートした。インバウンド客が「がもう家」に宿泊したくなる「キャッチフレーズ」を英語で考案し、サムネイル画像を作成し、サイトに掲載した。1週間後には、アメリカ人やオーストラリア人など、Booking.comから宿泊予約が1組、2組と入り始めた。また、インバウンドの宿泊者に対する満足度を高めるため、翻訳アプリを使い、英語でのコミュニケーションを心掛けた。優しい人柄のオーナーが、自ら企画して近隣施設など送迎し案内するツアーは、レビューからもわかる通り、特に満足度が高いことがわかった。現在は、月平均10~15組ほどの宿泊にとどまるが、今後は「宿泊」と「アクティビティー」のセットをインバウンド誘客の切り札として、新規とリピーターの獲得を目指す。これからも「がもう家」の挑戦は、続く。

■がもう家

住所 香川県坂出市加茂町 825

TEL 0877-85-7951

営業時間 10:00~17:00

定休日 不定休

ホームページ <https://gamouya.net/>

Instagram <https://www.instagram.com/gamouya/>



▼本リリースに関するお問い合わせ:坂出ビジネスサポートセンター(サカビズ) 長谷川

〒762-8601 香川県坂出市室町二丁目3番5号 東館 1階 公式 HP:<https://saka-biz.com/>

Tel:0877-85-3015 (電話受付:土・日・祝日を除く/9:30~17:00)